

# 環境負荷物質低減

PRTR※法を踏まえた環境負荷物質の管理システムを確立し、社内規程の環境保全事前検討制度を運用しながら、環境負荷物質の使用を管理しています。また、環境負荷物質を含まない製品の開発に取り組んでいます。

※PRTR (Pollutant Release and Transfer Register : 化学物質排出移動量届出制度)

## 2007年度の活動計画と実績

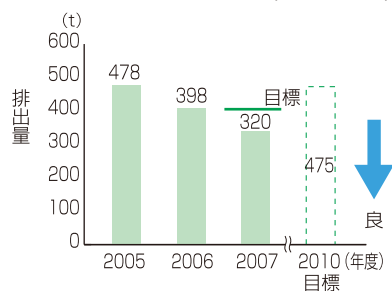
目的	取り組み項目	実施内容
1. 鉛フリー化の推進	鉛フリー軸受への切り替え推進	○プシュ材料の切り替え推進 (鉛フリー材料：HB200)
2. 副資材の変更	各工場小委員会活動の推進	○防錆油をPRTR法対象外品へ切り替え

## 総括

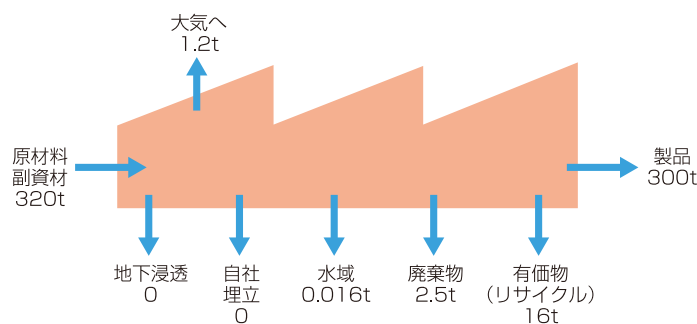
- ・2010年度目標値は前倒しで達成しており、2007年度は前年度比0.5t低減を目標として達成しました。
- ・鉛フリー軸受製品の拡大や防錆油の切り替え等により大きな効果が得られました。

## PRTR法対象物質取扱量

■ PRTR法対象物質取扱量(届出ベース)



## PRTR法対象物質の排出・移動量



## 取り組み事例

### ■ 鉛フリー材『HB200』への切り替え活動

『HB200』とは、鉛を含まない軸受用新素材であり、当社では従来品からの切り替えを進めています。2007年度は軸受(プシュ)の主力材料を一斉に切り替える一大イベントとなりました。役員を含めたフォロー会をこれまでに約60回実施し、量産化へ向けた製品精度の追求、切り替えタイミングの調整、製品管理の仕組み作り、お客様との日程調整等、全社一丸となった活動を展開することができました。



鉛フリー材「HB200」製品展示会

## 2008年度の目標と重点実施項目

目的	目標	主な実施内容
1. 鉛使用量の低減	PRTR法対象物質使用量 319 t/年 以下	・鉛フリー化の推進 ・製品・設備のシンプル・スリム化 ・歩留り向上、不良低減活動
2. PRTR法対象副資材の低減		各工場の小委員会活動

軸受製品の鉛フリー化をさらに推進し、鉛使用量の低減を進めていきます。